

「周波数資源開発シンポジウム2006」開催のお知らせ

近年、社会の情報化の進展により、電波利用は多様化し需要は急増しています。このような電波利用環境の変化及び電波利用の需要増大に対し、将来とも安定した周波数の供給を図るためには、利用できる周波数帯の拡大を図るとともに、既に利用されている周波数帯の効率的利用を促進する必要があります。このため、平成5年より毎年周波数資源開発シンポジウムを開催し、周波数の有効利用を可能とする最新技術等に焦点を当て、様々な観点からの講演会を行ってきました。

本年は6月2日（金）明治記念館において、独立行政法人情報通信研究機構と社団法人電波産業会の共催により「周波数資源開発シンポジウム2006」を開催いたします。今回は「ワイヤレスブロードバンド研究と標準化活動」というテーマで、米国における国際標準 IEEE 802.15 や IEEE 802.16 の動向、我が国における周波数標準化と日本の戦略、次世代モバイルネットワークとユビキタスへの展開、3GPP の経験と将来の標準化活動について、各分野の第一線でご活躍の方々による講演を行います。

研究者や専門家のみならず、標準化にご関心のある一般の方々の参加を心よりお待ち申し上げます。

- 1 日 時 : 平成18年6月2日（金） 午後1時から
- 2 場 所 : 明治記念館 シンポジウム 「富士1」午後1時から
レセプション 「富士2」午後5時50分から
(東京都港区元赤坂 2-2-23)
以下「会場案内図」をご参照下さい。
- 3 主 催 : 独立行政法人 情報通信研究機構
社 団 法 人 電 波 産 業 会
後 援 : 総 務 省 (予定)
協 賛 : 情 報 通 信 月 間 推 進 協 議 会
- 4 申し込み方法 : 以下のホームページからお申し込み下さい。
<http://www.arib.or.jp/osirase/seminar/index.html>
なお会場の都合上、定員(250名)になり次第締め切らせていただきますのでご了承ください。
- 5 参加費 : シンポジウム、レセプション共 無料
- 6 内 容 : 講演 5件 (同時通訳つき)
- 7 プログラム : 以下「周波数資源開発シンポジウム2006」をご参照下さい。
- 8 お問い合わせ先 : E-mail: frds-2006@arib.or.jp

連絡先: 社団法人 電波産業会
研究開発本部 周波数資源グループ
小岩井、波戸
TEL : 03-5510-8593
FAX : 03-3592-1103

情報通信月間参加行事

「周波数資源開発シンポジウム 2006」

ワイヤレスブロードバンド研究と標準化活動

(敬称略)

時間	次第	講師
12:30	開場	
13:00	開会	
13:00 ~ 13:05	開会挨拶	独立行政法人情報通信研究機構理事 大森 慎吾
13:05 ~ 13:10	来賓挨拶	総務省大臣政務官 古屋 範子
13:10 ~ 14:00	講演 1 周波数標準化と日本の戦略	大阪大学教授 小牧 省三
14:00 ~ 14:50	講演 2 広帯域無線アクセスの国際標準 IEEE 802.16	IEEE 802.16ワーキンググループ議長 Dr.Roger B. Marks
14:50 ~ 15:40	講演 3 次世代モバイルネットワークとユビ キタスへの展開	NTT ドコモネットワーク研究所長 今井 和雄
15:40 ~ 16:00	(休憩)	
16:00 ~ 16:50	講演 4 3GPP の経験と将来の標準化活 動	NEC キャリアネットワークビジネスユ ニット主席技術主幹 古谷 之綱
16:50 ~ 17:40	講演 5 IEEE802.15.3c タスクグループの 最近の活動	IEEE802.15.SG3c 議長 Dr.Reed E. Fisher
17:40 ~ 17:45	閉会挨拶	社団法人電波産業会常務理事 小林 哲
17:45	閉会	

(英語の講演には日本語の同時通訳が付きます。)

17:50 ~ レセプション

情報通信月間参加行事

「周波数資源開発シンポジウム 2006」

会場案内図

(平成18年6月2日(金)13:00開会)

明治記念館案内図



電車：JR中央・総武線信濃町駅より下車徒歩3分

地下鉄（銀座線・半蔵門線）青山一丁目駅より下車（2番出口）徒歩6分

（大江戸線）国立競技場駅下車（A1出口）徒歩6分

バス：都バス「権田原・明治記念館前」下車徒歩1分

（品97）品川車庫前 - 新宿駅西口

車：高速4号線（外苑出口）より1分

* 250台まで収容できる専用駐車場がございます